

Humanity in the Planet

本号では、宇宙研の全面的なご協力を得て、GEOTAIL 特集を組みました。この特集は、「ISAS ニュース、No. 166」(1995年1月発行)に掲載された「特集：オーロラの源をさぐる—GEOTAILが見た地球のしっぽ—」を宇宙科学研究所の許可を得て転載したものです。

転載に当たっては、随所で改訂がなされ、新しく付け加わった記事もあります。西田先生には巻頭言も書いて頂きました。宇宙研の小原隆博さんには、特集の原稿の取りまとめをして頂きました。地球に及ぼす太陽の影響の大きさと、人類が被る太陽の恩恵を再認識させるものと思います。

川上さんの投稿原稿「木星のイオに光合成硫黄細菌はいるだろうか」は、地球外生命の存否を科学的に推論しようとするものですが、人類が生存する惑星「地球」の特殊な条件を改めて考えさせるものと思います。

先の神戸を中心とした震災では、大自然の営みに対する人間の非力さを感じさせられ、人類が自然界の微妙なバランスのうえに辛うじて存在して

いるため、ただですら人類の永続性は危ぶまれるものであるという事を再認識させられました。ところが、最近のサリン事件にも見られるように、他の存続を否定することによって自己の存続を得ようとする人間の性(さが)もあるようです。惑星科学を探求する人々は、地球の存在条件の得難さを知るが故に、暖かい人間性を科学の発展の中に持込む集団であってくれるものと思います。

本年より、向井さんの後を受けて、編集専門委員会委員長をさせて頂く事になりました。私の専門とするところは、現在の惑星科学の中では、小さな領域です。個人的には惑星科学全般に関して情報不足で、とても委員長は務まりそうにありませんので、今までの編集委員の方全員に留任して頂きました。佐々木さんには、編集幹事として強力に補佐して頂いています。「遊・星・人」は日本惑星科学会の全会員が作る機関誌です。会員諸氏からの積極的な投稿をお願いします。

(村江達士)

編集委員

村江 達士 [編集長] 佐々木 晶 [幹事]
 荒川 政彦 大谷 栄治 坂本 尚義 井田 茂 中川 義次 渡部 潤一 佐々木 進
 早川 雅彦 海老原 充 松島 弘一 小林 憲正 高木 靖彦 加藤 学 土山 明
 向井 正

1995年6月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第4巻 第2号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 村江達士 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒812-81福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学理学部地球惑星科学科

印刷所 〒135 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学理学部地学内

日本惑星科学会 TEL 03-3720-9885 FAX 03-3727-4662

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。